

こども家庭庁委託事業
地域の人材による子育て支援活動強化研修

地域子育て支援拠点研修 佐賀開催

子育て家庭を地域で支えあう仕組みの基盤強化のため、地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業に携わる従事者、行政担当者対象の研修です。最新の行政説明、講義、事例報告、パネルディスカッションなどから実践的に学ぶ機会とします。

2025年7月27日(日)
10:00～16:00 (受付9:30～)



- 会場
アバンセ ホール
(佐賀市天神3-2-11どんとどんの森内)
- アクセス
・JR佐賀駅から徒歩10分
・市営バス5分乗車「どん3の森バス停」から徒歩3分
- 定員
100名 (事前申込・先着順・定員になり次第締切)
- 対象
・地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業の従事者
または従事予定の方
・行政の事業担当者
・地域において、子育て支援に従事している方
- 後援
佐賀県・佐賀市・(社福)全国社会福祉協議会
- 協力
NPO法人アンジュ・ママン

参加無料

お申込みは
専用WEBページから

<https://kosodatehiroba.com/seminar-info/saga>

<主催・問い合わせ先>
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
〒222-0037 横浜市港北区大倉山1-12-18-303
TEL:045-531-2888/045-546-9970(平日9:00～17:00)
FAX:045-512-4971
Email:seminar@kosodatehiroba.com



9:30～ 受付開始
10:00～10:10 開会挨拶

プログラム

10:10～11:00 プログラム1 行政説明

地域の子育て支援に関する施策の現状

令和5年4月からこども家庭庁が創設され、新たな施策も注目されています。地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業の概要、および子ども・家庭支援をめぐる最新情報についてご説明いただきます。

説明 こども家庭庁 成育局 成育環境課

コーディネーター 奥山千鶴子
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長

11:00～12:00 プログラム2 基調講演

子育て家庭に寄り添う地域子育て支援拠点のこれから

地域子育て支援拠点は、地域の実情に合わせながら様々な形で全国8000か所に広がりました。その創成期から支援者を応援し、調査研究や研修プログラムの開発、そして『地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」』を作成された渡辺先生をお迎えします。子ども家庭福祉、児童発達支援といった専門分野の知見に加え、新たな国の制度や動向も踏まえながら、拠点が歩むべき方向や課題、支援者に求められる役割などをお話いただきます。

講師 渡辺顕一郎さん
日本福祉大学 教育・心理学部 こども学科 教授



日本福祉大学教育・心理学部教授。京都国際社会福祉センター、四国学院大学教員を経て2007年度から現職。
2002年に香川県善通寺市において地域の有志の人たちと共にNPO法人「子育てネットくすくす」を設立。
大学教員としての職務の傍ら、子育てひろばや児童発達支援事業の運営にも携わる。専攻は子ども家庭福祉。
関西学院大学大学院博士課程修了(社会福祉学博士)。
厚生労働省社会保障審議会児童部会委員などを歴任。

お昼休み

13:00～15:55 プログラム3 パネルディスカッション

地域とともにほぐくむこども・子育て支援の「環(わ)」 ～こどもまんなか社会の安心と挑戦の場となるために

こどもと家庭に寄り添ってきた地域子育て支援拠点。これからは、国の新たな制度を踏まえ、妊娠期からの支援、母子保健・専門機関や多様な事業とつながり、地域の子育て支援の一翼を担うために、新たな視点も求められてきます。親子に寄り添う伴走力、包摂力、見通し力といった力量が求められる中、パネルディスカッションでは、実践事例などを通して、日々の振り返りを行い新たな気づきを得る機会とします。

また、国が「こどもまんなか社会」の実現を目指してまとめた「はじめの100か月の育ちビジョン」において、乳幼児の育ちには「安心」と「挑戦」の繰り返しが大切と言われている中、こどもたちの『安心と挑戦』の場としての拠点のあり方についても考えてみましょう。

パネリスト

川上利香さん NPO法人宇美こども子育てネット・う～みん 代表理事

古賀智子さん 佐賀市諸富地区社会福祉協議会 もろども広場

山口ひろみさん NPO法人唐津市子育て支援情報センター センター長

コメンテーター

渡辺顕一郎さん 日本福祉大学 教育・心理学部 こども学科 教授

コーディネーター

小川由美さん NPO法人アンジュ・ママン 施設長

15:55～16:00 終了挨拶